様式1-1

平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 530101	緑と花の推進委員会補助事業	主管課名	みどり推進
この事務事業の位置	政策	人と自然が共生する心地よい環境		
	施策	緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち	課長名	柘植　昭敏
	基本事業	緑化景観の創出		

(1)事業の概要

自然環境の保全、緑の愛護、環境美化の推進を図り、緑と花の豊かな郷土の建設に寄与することを目的とした団体に補助。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	委員数	人
②		
③		

その指標

(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)

学識経験者、市内の各種団体の代表者、緑花推進に理解のある者で組織する「緑と花の推進委員会」に対し3,037,510円の活動費の補助金を交付。

27年度計画　■前年と同様　□変更あり　変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

市民

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	人口	人
②		
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

公共施設を緑で被うことにより市民の緑化意識の向上を図る

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	活用者数（必要と考える住民数）	人
②		
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

緑豊かな街並景観をつくる

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	公共施設などの花苗植栽本数	本
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標＼年度		単位	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
(5)の活動指標	①	人	33	33	33	33	33	33
	②							
	③							
(6)の対象指標	①	人	59,474	59,885	60,800	61,400	62,000	62,600
	②							
	③							
(7)の成果指標	①	人	59,474	59,885	60,800	61,400	62,000	62,600
	②							
	③							
(8)の結果の成果指標	①	本	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500
	②							
	③							

(10)予算費目

会計　01 一般会計　款 06　項 02　目 01

(11)コスト

(11)コスト		年度	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	3,241	3,038	6,200	3,600	3,600	3,600
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,241	3,038	6,200	3,600	3,600	3,600
人件費B		千円	1,213	1,131	1,131	1,131	1,131	1,131
	正職員従事時間×人数	時間×人	75 × 4	75 × 4	75 × 4	75 × 4	75 × 4	75 × 4
	正職員以外の人件費	千円	100	100	100	100	100	100
その他費用C		千円	138	138	138	138	138	138
トータルコストA+B+C		千円	4,592	4,307	7,469	4,869	4,869	4,869
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/　人	0	0	0	0	0	0
	②	千円/						
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	530101	緑と花の推進委員会補助事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？

平成8年　から

(2)この事務事業を開始したきっかけは？

愛知県緑化推進委員会から「緑の募金」の交付金が交付されるため、各行政区へ還元する。

(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？

■変化していない
□変化している → 変化した内容

(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？

3 評価（SEE）					
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
			根拠法令	みよし市緑と花の推進委員会規約	
			この事務を行う根拠又は理由	愛知県緑化推進委員会からの緑の募金の交付金を市や地区へ還元するため行う。	
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容		
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	一定の成果が達成されているため、現状を維持。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	□ある → □庁内事業 / □庁外事業 ■ない	類似事業名		
			類似事業との再編の可能性	□ある □ない	内容
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある / □ない → □現状で適正 / □検討が必要 ■受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）						
(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	↓　削減	事業費の方向性	↓　減額	成果の方向性	→　維持
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど						

様式1-1

平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 530102	花苗配布事業	主管課名	みどり推進
この事務事業の位置	政策	人と自然が共生する心地よい環境		
	施策	緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち	課長名	柘植　昭敏
	基本事業	緑化景観の創出		

(1)事業の概要

住民の緑化に対する意識が高まる今日、うるおいのあるまちづくりを目指す意味において、花苗を１世帯当たり１鉢、配布する。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	配布した花苗数	苗
②		
③		

その指標

(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	花苗の配布については、各行政区で確実に集客されるイベント等の開催に合わせて配布する。当該花苗の育成及び配布をシルバー人材センターに委託する。
27年度計画	■前年と同様 □変更あり → 変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

市民

その指標

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	人口	人
②		
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

より多くの各家庭で花苗を育ててもらう

その指標

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	イベントで花苗配布をした行政区数／行政区数	%
②		
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

緑豊かな街並景観をつくる

その指標

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	公共施設などの花苗植栽本数	本
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標 ＼ 年度		単位	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
(5)の活動指標	①	苗	23,000	23,100	23,600	24,200	24,700	25,200
	②							
	③							
(6)の対象指標	①	人	59,474	59,885	60,800	61,400	62,000	62,000
	②							
	③							
(7)の成果指標	①	%	100	100	100	100	100	100
	②							
	③							
(8)の結果の成果指標	①	本	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500
	②							
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	06	項	02	目	01

(11)コスト

		年度	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	1,840	1,974	1,924	2,168	2,168	2,168
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,840	1,974	1,924	2,168	2,168	2,168
人件費B		千円	654	610	610	610	610	610
	正職員従事時間×人数	時間×人	40 × 4	40 × 4	40 × 4	40 × 4	40 × 4	40 × 4
	正職員以外の人件費	千円	60	60	60	60	60	60
その他費用C		千円	23	23	23	23	23	23
トータルコストA+B+C		千円	2,517	2,607	2,557	2,801	2,801	2,801
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/　人	0	0	0	0	0	0
	②	千円/						
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	530102	花苗配布事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
平成2年　から	
(2)この事務事業を開始したきっかけは？	
住民の緑化意識が高まり、緑化推進が図られるようになった。	
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	
■変化していない □変化している → 変化した内容	

3 評価（SEE）					
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
			根拠法令	特になし	
			この事務を行う根拠又は理由	花苗の配布により緑花意識が高まり、緑花推進が図られる。	
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容		
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	□影響が大きい ■多少影響がある □影響はない	理由又は内容	市民の緑化、環境美化意識の低下	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	一定の成果が達成されているため、現状を維持。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	□ある → □庁内事業 / □庁外事業 ■ない	類似事業名		
			類似事業との再編の可能性	□ある → 内容 □ない	
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある / ■ない → ■現状で適正 / □検討が必要 □受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）							
	(1)今後の事業の方向性	□拡大	■改善	□現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
		コストの方向性	↑　増加	事業費の方向性	→　維持	成果の方向性	→　維持
	(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど	平成２年より本事業を開始したが、事業開始後２０年以上が経過し市民の緑化、環境美化に対する意識は向上しているため当初の目的は達成したと思われる。今後は公共施設の緑化維持、美化活動等への支援へ移行していきたい。					

様式1-1

平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 530104	記念樹配布事業	主管課名	みどり推進
この事務事業の位置	政策	人と自然が共生する心地よい環境		
	施策	緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち	課長名	柘植　昭敏
	基本事業	緑化景観の創出		

(1)事業の概要

市民が、緑に感謝し、緑を慈しみ、緑に親しみ、もって緑化意識の高揚を図ることを目的とし、人生の節目に夢や希望、願いを込め、緑化木等を記念樹として配布する。
①新築（ハナミズキ）
②男子出生（ゲッケイジュ）
③女子出生（ハナモモ）
④小学校入学（モッコウバラ）

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	記念樹受取者数	人
②		
③		

その指標

(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	①結婚（ライラック70本）　②新築（ハナミズキ120本） ③男子出生（マンサク120本）　④女子出生（ムラサキシキブ110本） ⑤還暦（ハナズオウ50本）　⑥各小学校（クリスマスローズ930本） 等の樹木を記念樹として配布しました。
27年度計画	■前年と同様 □変更あり → 変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

結婚・新築・出生・還暦・各小学校へ入学された人

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	記念樹配布対象者数	人
②		
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

より多くの対象者に記念樹の苗木を植えてもらい、緑ゆたかなまちにする

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	記念樹受取者数／記念樹配布対象者数	%
②		
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

緑豊かな街並景観をつくる

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	公共施設などの花苗植栽本数	本
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標＼年度		単位	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
(5)の活動指標	①	人	1,163	1,054	1,085	1,100	1,150	1,200
	②							
	③							
(6)の対象指標	①	人	2,589	2,494	1,800	1,800	1,800	1,800
	②							
	③							
(7)の成果指標	①	%	44.9	42.2	60	61	64	64
	②							
	③							
(8)の結果の成果指標	①	本	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500
	②							
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	06	項	02	目	01

(11)コスト

(11)コスト		年度	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	768	696	740	740	756	756
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	768	696	740	740	756	756
人件費B		千円	1,425	1,327	1,327	1,327	1,327	1,327
	正職員従事時間×人数	時間×人	90 × 4	90 × 4	90 × 4	90 × 4	90 × 4	90 × 4
	正職員以外の人件費	千円	90	90	90	90	90	90
その他費用C		千円	14	14	14	14	14	14
トータルコストA+B+C		千円	2,207	2,037	2,081	2,081	2,097	2,097
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/　人	1	1	1	1	1	1
	②	千円/						
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	530104	記念樹配布事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？

昭和48年　から

(2)この事務事業を開始したきっかけは？

人生の節目となるとき、夢や希望、願いを込め、各記念として緑化木の「記念樹」を配布

(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？

■ 変化していない
□ 変化している → 変化した内容

(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？

・住宅事情の変化により、新築しても樹木を植栽するスペースが無くなっている。
・結婚、出産についても対象者数が減少している。
・寿命の変化により、還暦を特にお祝いする傾向が無くなってきている。

3 評価（SEE）

目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
			根拠法令	特になし
			この事務を行う根拠又は理由	苗木の配布により緑花意識が高まり、緑花推進図られる。
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由	
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容	
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容	
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	□影響が大きい ■多少影響がある □影響はない	理由又は内容	緑化意識の低下
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	樹木の育て方のチラシを同時配布しており、向上の余地はあまり期待できない。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	□ある → □庁内事業 / □庁外事業 ■ない	類似事業名	
			類似事業との再編の可能性	□ある → 内容 □ない
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容	
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある / ■ない → ■現状で適正 / □検討が必要 □受益者がいない	内容	

4 改革改善案（PLAN）

(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	→ 維持	事業費の方向性	→ 維持	成果の方向性	↑ 向上
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど						

様式1-1

平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 530105	街路樹維持管理事業	主管課名	土木管理課
この事務事業の位置	政策	人と自然が共生する心地よい環境	課長名	竹谷　好裕
	施策	緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち		
	基本事業	緑化景観の創出		

(1)事業の概要

市道区域内の街路樹を適正な維持管理を行い、道路空間を利用した緑豊かな緑地空間づくりと都市景観の向上を図る。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	街路樹管理面積	㎡
②		
③		

その指標

(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)　①街路樹の補植、②市道・自転車歩行者専用道路・市道付帯地等の街路樹の維持管理を行った。

27年度計画　■前年と同様　□変更あり　変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

①街路樹のある市道

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	街路樹のある市道の路線数	路線
②	街路樹のある自転車歩行者専用の路線数	路線
③	街路樹のある道路付帯地の箇所数	箇所

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①街路樹を良好な状態に管理する

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	街路樹管理本数	本
②		
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

①緑豊かな街並景観をつくる

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	道路植栽帯などの緑化面積	ha
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標＼年度		単位	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
(5)の活動指標	①	㎡	26,146	25,437	26,000	26,500	27,000	27,500
	②							
	③							
(6)の対象指標	①	路線	41	41	41	41	41	41
	②	路線	34	34	34	34	34	34
	③	箇所	20	20	20	20	20	20
(7)の成果指標	①	本	4,831	4,806	4,900	4,900	4,900	4,900
	②							
	③							
(8)の結果の成果指標	①	ha	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14
	②							
	③							

(10)予算費目　会計　01 一般会計　款 08　項 02　目 02

(11)コスト		年度	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	88,382	93,829	122,700	122,800	125,320	125,320
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	376	407	350	350	350	350
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	88,006	93,422	122,350	122,450	124,970	124,970
人件費B		千円	3,893	3,613	3,709	3,709	3,709	3,709
	正職員従事時間×人数	時間×人	210 × 5	263 × 4	270 × 4	270 × 4	270 × 4	270 × 4
	正職員以外の人件費	千円						
その他費用C		千円	233	240	240	240	240	240
トータルコストA+B+C		千円	92,508	97,682	126,649	126,749	129,269	129,269
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/ 路線	2,256	2,382	3,089	3,091	3,153	3,153
	②	千円/ 路線	2,721	2,873	3,725	3,728	3,802	3,802
	③	千円/ 箇所	4,625	4,884	6,332	6,337	6,463	6,463

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	530105	街路樹維持管理事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(2)この事務事業を開始したきっかけは？	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
かなり前　から	良好な都市景観の整備と、緑豊かな道路空間づくりを推進するために、本事業が始まった。	□変化していない ■変化している → 変化した内容：街路樹本数の増加と伴に、街路樹についての苦情件数も増加している。	

3 評価（SEE）					
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
			根拠法令	道路法	
			この事務を行う根拠又は理由	街路樹は道路施設であり、道路管理者の市が管理する責務がある。	
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容		
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	■できる □できない	理由又は内容	街路樹について苦情が多いため、管理方法の改善を検討する。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	□ある → □庁内事業 / □庁外事業 ■ない	類似事業名		
			類似事業との再編の可能性	□ある □ない	内容
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある / □ない → □現状で適正 / □検討が必要 ■受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）						
(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	→ 維持	事業費の方向性	→ 維持	成果の方向性	→ 維持
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど						

様式1-1

平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 530106	みどりと景観計画推進事業	主管課名	都市計画課
この事務事業の位置	政策	人と自然が共生する心地よい環境	課長名	柴田　浩
	施策	緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち		
	基本事業	緑化景観の創出		

(1)事業の概要

緑の基本計画は、都市緑地保全法第2条の2に「市町村の緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画」として規定されており、市町村が、その区域内における緑地の適正な保全及び緑化の推進に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための施策等を内容として策定する緑とオープンスペースに関する総合的な計画である。
　景観計画は、景観法に基づき景観行政団体が法の手続きに従って定める「良好な景観の形成に関する計画」のことで、景観まちづくりを進める基本的な計画として、景観形成の方針、行為の制限に関する事項などを定めることができる。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	都市計画区域	ha
②		
③		

(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)

「みどりと景観計画　アクションプラン」の実施及び進行管理
「みどりと景観審議会」の開催
「みどりのまち育て塾」を開催し、里山保全・地域緑化におけるリーダーを育成

27年度計画

■前年と同様
□変更あり

変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

市民

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	人口	人
②		
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①市民に自然や景観への意識・感心を高めてもらう
②景観重要建造物、景観重要樹林、景観重要公共施設の指定

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	みどりのまち育て塾　参加者	人
②	景観重要建造物,景観重要樹林,景観重要公共施設の指定	か所
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

緑豊かな街並景観をつくる

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	公共施設などの花苗植栽本数	本
②	道路植栽帯などの緑化面積	ha
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標＼年度		単位	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
(5)の活動指標	①	ha	3,211	3,211	3,219	3,219	3,219	3,219
	②							
	③							
(6)の対象指標	①	人	59,474	59,885	60,800	61,400	62,000	62,600
	②							
	③							
(7)の成果指標	①	人	18	18	20	20	0	0
	②	か所	0	1	0	1	0	0
	③							
(8)の結果の成果指標	①	本	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500
	②	ha	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	08	項	04	目	01

(11)コスト

(11)コスト		年度	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	2,045	2,039	8,674	5,656	1,438	1,006
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,045	2,039	8,674	5,656	1,438	1,006
人件費B		千円	3,244	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400
	正職員従事時間×人数	時間×人	875 × 1	495 × 2	495 × 2	495 × 2	495 × 2	495 × 2
	正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0		
その他費用C		千円	92	92	92	92	92	92
トータルコストA+B+C		千円	5,381	5,531	12,166	9,148	4,930	4,498
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/　人	0	0	0	0	0	0
	②	千円/						
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	530106	みどりと景観計画推進事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？

平成23年度　から

(2)この事務事業を開始したきっかけは？

景観緑三法（景観法、都市緑地保全法等の一部を改正する法律、景観法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律）の成立による。

(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？

■ 変化していない
□ 変化している → 変化した内容

(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？

緑の基本計画は、市町村が独自性、創意工夫を発揮して緑地の保全から公園緑地の整備、その他の公共公益施設及び民有地の緑化の推進まで、その市の緑全般について将来のあるべき姿とそれを実現するまでの施策について、住民の意見を反映させつつ、公表の手続きを経ることを通じて明らかにしたものとし、総合計画に基づく将来都市像の実現を図る。

3 評価（SEE）

目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
			根拠法令	水と緑の風景を守り育てる条例
			この事務を行う根拠又は理由	.
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由	
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容	
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容	
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	成果を出すための過程途中であり、現時点では成果向上の余地はない。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	□ある → □庁内事業 / □庁外事業 ■ない	類似事業名	
			類似事業との再編の可能性	□ある → 内容 □ない
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容	
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある / ■ない → ■現状で適正 / □検討が必要 □受益者がいない	内容	

4 改革改善案（PLAN）

(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	↓　削減	事業費の方向性	↓　減額	成果の方向性	→　維持
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど						

様式1-1

平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 530107	都市緑化推進事業	主管課名	みどり推進
この事務事業の位置	政策	人と自然が共生する心地よい環境		
	施策	緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち	課長名	柘植　昭敏
	基本事業	緑化景観の創出		

(1)事業の概要

愛知県が施行する「あいち森と緑づくり都市緑化推進事業費補助」を活用した都市緑化を推進する。また、県費対象外の小規模緑化事業についても市単独費で補助する。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	補助金の交付件数	件
②		
③		

その指標

(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	①緑の街並み推進事業（空地緑化）　３件 ②民有地緑化推進事業（壁面緑化）　１件
27年度計画	■前年と同様 □変更あり → 変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

①市民
②事業所

その指標

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	人口	人
②	事業所数	ヶ所
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

本事業を活用して、道路から見える公共用地以外の土地の緑化を図る

その指標

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	補助金を交付した件数／補助金交付申請の件数	%
②		
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

緑豊かな街並景観をつくる

その指標

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	緑化された面積	㎡
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標 ＼ 年度		単位	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
(5)の活動指標	①	件	3	4	4	4	4	4
	②							
	③							
(6)の対象指標	①	人	59,474	59,885	60,800	61,400	62,000	62,600
	②	ヶ所	1,974	1,974	1,974	1,974	1,974	1,974
	③							
(7)の成果指標	①	%	100	100	100	100	100	100
	②							
	③							
(8)の結果の成果指標	①	㎡	1,715	1,344	300	300	300	300
	②							
	③							

(10)予算費目	会計	01 一般会計	款	08	項	04	目	01

(11)コスト		年度	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	5,363	5,854	6,000	6,000	6,000	6,000
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	5,300	5,843	5,000	5,000	5,000	5,000
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	63	11	1,000	1,000	1,000	1,000
人件費B		千円	391	364	364	364	364	364
	正職員従事時間×人数	時間×人	25 × 4	25 × 4	25 × 4	25 × 4	25 × 4	25 × 4
	正職員以外の人件費	千円	20	20	20	20	20	20
その他費用C		千円	46	46	46	46	46	46
トータルコストA+B+C		千円	5,800	6,264	6,410	6,410	6,410	6,410
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/　人	0	0	0	0	0	0
	②	千円/ ヶ所	3	3	3	3	3	3
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	530107	都市緑化推進事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
平成２４年度　から	特になし
(2)この事務事業を開始したきっかけは？	
住宅地や工場、事業所の緑化を推進し緑豊かな街並みをつくるため、民間で行う緑化活動に対して補助する。	
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	
■変化していない □変化している → 変化した内容	

3 評価（SEE）					
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
			根拠法令	なし	
			この事務を行う根拠又は理由	住宅地の緑化を推進するため。	
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容		
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	事業のＰＲを行ってはいるが、企業や個人からの申請事業であり、成果をこれ以上向上することは難しい	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	□ある → □庁内事業 / □庁外事業 ■ない	類似事業名		
			類似事業との再編の可能性	□ある → 内容 □ない	
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	■ある / □ない → ■現状で適正 / □検討が必要 □受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）							
	(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
		コストの方向性	→ 維持	事業費の方向性	→ 維持	成果の方向性	→ 維持
	(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど						

様式1-1

平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 530201	森林病害虫防除事業	主管課名	みどり推進
この事務事業の位置	政策	人と自然が共生する心地よい環境	課長名	柘植　昭敏
	施策	緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち		
	基本事業	里山の保全		

(1)事業の概要

公共施設敷地内の松くい虫等の被害にあった樹木を早期に伐倒処分し、被害拡大を防止して森林の保全を図る。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	公共施設敷地内の松くい虫等被害の伐倒本数	本
②		
③		

その指標

(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	公共施設敷地内で松くい虫等の被害が発生した樹木を伐倒処分し、被害拡大を防止して森林保全に努めた。
27年度計画	■前年と同様 □変更あり → 変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

公共施設敷地内の松くい虫等被害木

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) ･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	松くい虫等被害樹木本数	本
②		
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

松くい虫等による被害樹木を早期に伐倒し、他の樹木への被害拡大を防止する

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) ･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	松くい虫等被害伐倒本数/松くい虫等被害本数	%
②		
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

市内に残る貴重な里山を保全し活用する

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) ･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	鎮守の森の保全面積	ha
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標 ＼ 年度		単位	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
(5)の活動指標	①	本	162	400	160	160	160	160
	②							
	③							
(6)の対象指標	①	本	162	400	160	160	160	160
	②							
	③							
(7)の成果指標	①	%	100	100	100	100	100	100
	②							
	③							
(8)の結果の成果指標	①	ha	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9
	②							
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	06	項	02	目	01

(11)コスト

		年度	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	4,998	6,997	7,000	7,000	7,000	7,000
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	4,998	6,997	7,000	7,000	7,000	7,000
人件費B		千円	1,213	1,131	1,131	1,131	1,131	1,131
	正職員従事時間×人数	時間×人	75 × 4	75 × 4	75 × 4	75 × 4	75 × 4	75 × 4
	正職員以外の人件費	千円	100	100	100	100	100	100
その他費用C		千円	23	23	23	23	23	23
トータルコストA+B+C		千円	6,234	8,151	8,154	8,154	8,154	8,154
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/ 本	38	20	51	51	51	51
	②	千円/						
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	530201	森林病害虫防除事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？

かなり前　　から

(2)この事務事業を開始したきっかけは？

松くい虫等被害の樹木が顕著となり、放置すれば倒木の危険があるので、被害拡大を防止するため、本事業が始まった。

(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？

□変化していない
■変化している → 変化した内容：農薬散布での防除ができなくなった。

(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？

3 評価（SEE）					
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
			根拠法令	ない	
			この事務を行う根拠又は理由	松くい虫等の被害拡大を防止し、市内に残る緑豊かな自然を保全するため。	
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容		
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	予防方法が確立されていないため、現在の方法で実施します。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	□ある → □庁内事業 / □庁外事業 ■ない	類似事業名		
			類似事業との再編の可能性	□ある □ない	内容
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある / □ない → □現状で適正 / □検討が必要 ■受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）						
(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	→ 維持	事業費の方向性	→ 維持	成果の方向性	→ 維持
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど						

様式1-1

平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 530202	緑化指定地区保全事業	主管課名	みどり推進
この事務事業の位置	政策	人と自然が共生する心地よい環境		
	施策	緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち	課長名	柘植　昭敏
	基本事業	里山の保全		

(1)事業の概要

各行政区に存在する里山や鎮守の森の保全を目的に、行政区主催による樹木保全活動を支援する。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	緑化指定地域樹木保全活動実施面積	㎡
②		
③		

その指標

(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	緑化指定地区保全活動計画書を受付し、保全活動完了後、緑化指定地区保全活動実績報告書に基づき現地確認を行い報奨金を交付した。
27年度計画	■前年と同様 □変更あり → 変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

市緑化指定地域の樹林地

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　　称	単位
①	緑化指定地域面積	㎡
②		
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

緑化指定地域の樹林地を適正に管理してもらう

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　　称	単位
①	緑化指定地域樹木保全活動面積/緑化指定地域面積	%
②		
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

市内に残る貴重な里山を保全し活用する

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　　称	単位
①	鎮守の森の保全面積	ha
②	保全組織数	数
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標 ＼ 年度		単位	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
(5)の活動指標	①	㎡	48,500	48,500	48,500	48,500	48,500	48,500
	②							
	③							
(6)の対象指標	①	㎡	48,500	48,500	48,500	48,500	48,500	48,500
	②							
	③							
(7)の成果指標	①	%	100	100	100	100	100	100
	②							
	③							
(8)の結果の成果指標	①	ha	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9
	②	数	12	12	12	12	12	12
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	06	項	02	目	01

(11)コスト

(11)コスト		年度	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	1,182	1,183	1,213	1,213	1,213	1,213
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,182	1,183	1,213	1,213	1,213	1,213
人件費B		千円	397	370	370	370	370	370
	正職員従事時間×人数	時間×人	33 × 3	33 × 3	33 × 3	33 × 3	33 × 3	33 × 3
	正職員以外の人件費	千円	30	30	30	30	30	30
その他費用C		千円	69	69	69	69	69	69
トータルコストA+B+C		千円	1,648	1,622	1,652	1,652	1,652	1,652
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/ ㎡	0	0	0	0	0	0
	②	千円/						
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	530202	緑化指定地区保全事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
昭和53年度 から	
(2)この事務事業を開始したきっかけは？	
地域の里山や鎮守の森を保全し、緑化意識を高めるために、本事業が始まった。	
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	
□変化していない ■変化している → 変化した内容 農薬を使用した防除ができなくなってきた。	

3 評価（SEE）					
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
			根拠法令	みよし市緑花推進事業補助金交付要綱	
			この事務を行う根拠又は理由	良好な自然環境を保全するため。	
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容		
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	成果は達成されているため、維持する。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	□ある → □庁内事業 / □庁外事業 ■ない	類似事業名		
			類似事業との再編の可能性	□ある □ない → 内容	
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある / □ない → □現状で適正 / □検討が必要 ■受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）							
	(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
		コストの方向性	→ 維持	事業費の方向性	→ 維持	成果の方向性	→ 維持
	(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど						

様式1-1

平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 530203	自然林保全事業	主管課名	産業課
この事務事業の位置	政策	人と自然が共生する心地よい環境	課長名	山田　勉
	施策	緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち		
	基本事業	里山の保全		

(1)事業の概要

県の作成する地域森林計画の対象となる民有林（地域対象民有林）について、森林法に基づく届出の確認、県への協議その他法令に基づく事務手続きを適正に行い、みよし市森林整備計画による地域対象民有林の整備、保全を行う。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	伐採、造林の届出件数	件
②	森林面積	ha
③		

その指標

(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	森林法に基づく届け出の確認、県への通知②県森林協会への加入
27年度計画	■前年と同様 □変更あり → 変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

地域対象民有林

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) ･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	地域対象民有林の面積	ha
②		
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

伐採、伐採後の造林の状況把握による地域対象民有林の保全

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) ･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	伐採届出面積	ha
②	造林届出面積	ha
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

市内に残る貴重な里山を保全し活用する

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) ･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	被災面積	ha
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標 ＼ 年度		単位	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
(5)の活動指標	①	件	4	5	2	2	2	2
	②	ha	156	156	156	156	156	156
	③							
(6)の対象指標	①	ha	153	153	153	153	153	153
	②							
	③							
(7)の成果指標	①	ha	3.23	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22
	②	ha	0	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22
	③							
(8)の結果の成果指標	①	ha	0	0	0	0	0	0
	②							
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	06	項	02	目	02

(11)コスト

		年度	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	10	10	10	10	10	10
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	10	10	10	10	10	10
人件費B		千円	19	18	18	18	18	18
	正職員従事時間×人数	時間×人	1 × 5	1 × 5	1 × 5	1 × 5	1 × 5	1 × 5
	正職員以外の人件費	千円						
その他費用C		千円						
トータルコストA+B+C		千円	29	28	28	28	28	28
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/ ha	0	0	0	0	0	0
	②	千円/						
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	530203	自然林保全事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
昭和26年以降　から	森林の占める面積割合が小さく、森林業に携わる者が少ない状況で、森林保全が適正に行なわれるための制度の周知、情報提供を行う必要がある。
(2)この事務事業を開始したきっかけは？	
森林法の施行による	
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	
■変化していない □変化している → 変化した内容	

3 評価（SEE）					
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	■法定受託事務 □自治事務	根拠法令	森林法	
			法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する		
			根拠法令		
			この事務を行う根拠又は理由		
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	□結びつく □結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 □できない	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み □できない	内容		
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	□影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	■できる □できない	理由又は内容	法による届出制度の周知徹底	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	□ある → □庁内事業 / □庁外事業 ■ない	類似事業名		
			類似事業との再編の可能性	□ある → 内容 □ない	
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある / ■ない → ■現状で適正 / □検討が必要 □受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）						
(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	→ 維持	事業費の方向性	→ 維持	成果の方向性	→ 維持
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど						

様式1-1

平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 530401	児童遊園等維持管理事業	主管課名	みどり推進
この事務事業の位置	政策	人と自然が共生する心地よい環境		
	施策	緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち	課長名	柘植　昭敏
	基本事業	公園・緑地の維持管理		

(1)事業の概要

地元行政区が管理している児童遊園10施設・児童遊園地22施設の不良箇所の修理修繕を行い、施設を利用する児童の安全を図る。

みよし市地区公共施設修繕等事業補助金交付要綱
補助率
　事業費１０千円までは地元負担
　事業費１０千円を越える部分の１０分の９を補助
補助限度額
　５，０００千円

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	児童遊園・児童遊園地数	箇所
②		
③		

その指標

(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	①児童遊園・児童遊園地賠償責任保険加入、②児童遊園・児童遊園地遊具点検業務委託、③児童遊園・児童遊園地維持管理業務、④児童遊園・児童遊園地緊急修繕補助金交付　等を行った。
27年度計画	■前年と同様 □変更あり → 変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

点検により不良と認められた遊具

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　　称	単位
①	点検により不良と認められた遊具数	箇所
②	修繕件数	箇所
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

適正な維持管理を行い、安全な公園施設を利用者に提供する

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　　称	単位
①	修繕箇所数/点検後不良箇所数	%
②	事故件数	件
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

安全に利用できるよう公園緑地を管理する

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　　称	単位
①	児童遊園・児童遊園地における維持管理面積	ha
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標＼年度		単位	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
(5)の活動指標	①	箇所	32	32	32	32	32	32
	②							
	③							
(6)の対象指標	①	箇所	3	3	3	3	3	3
	②	箇所	3	2	3	3	3	3
	③							
(7)の成果指標	①	%	100	67	100	100	100	100
	②	件	0	0	0	0	0	
	③							
(8)の結果の成果指標	①	ha	2.08	2.08	2.08	2.08	2.08	2.08
	②							
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	03	項	02	目	04

(11)コスト

		年度	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	5,636	8,674	10,714	7,714	7,830	7,830
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	5,636	8,674	10,714	7,714	7,830	7,830
人件費B		千円	2,182	2,032	2,032	2,032	2,032	2,032
正職員従事時間×人数		時間×人	137 × 4	137 × 4	137 × 4	137 × 4	137 × 4	137 × 4
正職員以外の人件費		千円	150	150	150	150	150	150
その他費用C		千円	46	46	46	46	46	46
トータルコストA+B+C		千円	7,864	10,752	12,792	9,792	9,908	9,908
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/ 箇所	2,621	3,584	4,264	3,264	3,303	3,303
	②	千円/ 箇所	2,621	5,376	4,264	3,264	3,303	3,303
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	530401	児童遊園等維持管理事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？

平成11年度　から

(2)この事務事業を開始したきっかけは？

児童遊園・児童遊園地施設の老朽化により破損が著しくなってきたため、この施設を修繕するために、本事業が始まった。

(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？

□変化していない
■変化している → 変化した内容：児童遊園等施設の老朽化が進み、修繕な箇所が増大している。

(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？

3 評価（SEE）				
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
			根拠法令	みよし市地区公共施設修繕事業補助金交付要綱
			この事務を行う根拠又は理由	児童遊園・児童遊園地施設であり、公共性が高い施設であるため。
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由	
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容	
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容	
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	現在の維持管理方法により事故が発生していないため、この事業を継続する。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	■ある → ■庁内事業 / □庁外事業 □ない	類似事業名	公園維持管理事業、農村公園維持管理事業
			類似事業との再編の可能性	□ある → 内容 ■ない
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容	
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある → □現状で適正 / □検討が必要 □ない → □現状で適正 / □検討が必要 ■受益者がいない	内容	

4 改革改善案（PLAN）						
(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	↓　削減	事業費の方向性	↓　減額	成果の方向性	→　維持
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど						

様式1-1

平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 530402	農村公園維持管理事業	主管課名	みどり推進
この事務事業の位置	政策	人と自然が共生する心地よい環境		
	施策	緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち	課長名	柘植　昭敏
	基本事業	公園・緑地の維持管理		

(1)事業の概要

農村総合整備事業で整備された農村公園施設（福田農村公園・明知上農村公園・助手農村公園・高額農村公園）の修理修繕を行い、公園利用者の安全を図る。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	農村公園数	箇所
②		
③		

その指標

(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)

①農村公園等賠償責任保険加入、②農村公園遊具点検業務、③農村公園維持管理業務、④農村公園緊急修繕事業補助金交付　等を行った。

27年度計画　■前年と同様　□変更あり　→　変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

点検により不良と認められた遊具

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) ･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	点検により不良と認められた遊具数	箇所
②	修繕箇所数	箇所
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

適正な維持管理を行い、安全な公園施設を利用者に提供する

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) ･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	修繕箇所数/点検後不良箇所数	%
②	事故件数	件
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

安全に利用できるよう公園緑地を管理する

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) ･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	農村公園における維持管理面積	ha
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標＼年度		単位	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
(5)の活動指標	①	箇所	4	4	4	4	4	4
	②							
	③							
(6)の対象指標	①	箇所	1	1	2	2	2	2
	②	箇所	1	1	2	2	2	2
	③							
(7)の成果指標	①	%	100	100	100	100	100	100
	②	件	0	0	0	0	0	0
	③							
(8)の結果の成果指標	①	ha	0.81	0.81	0.81	0.81	0.81	0.81
	②							
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	06	項	01	目	07

(11)コスト

		年度	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	5,416	1,373	1,425	1,442	1,454	1,454
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	5,416	1,373	1,425	1,442	1,454	1,454
人件費B		千円	792	737	737	737	737	737
	正職員従事時間×人数	時間×人	50 × 4	50 × 4	50 × 4	50 × 4	50 × 4	50 × 4
	正職員以外の人件費	千円	50	50	50	50	50	50
その他費用C		千円	46	46	46	46	46	46
トータルコストA+B+C		千円	6,254	2,156	2,208	2,225	2,237	2,237
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/ 箇所	6,254	2,156	1,104	1,113	1,119	1,119
	②	千円/ 箇所	6,254	2,156	1,104	1,113	1,119	1,119
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	530402	農村公園維持管理事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？

平成14年度　から

(2)この事務事業を開始したきっかけは？

農村公園施設の老朽化による破損が著しくなってきたため、この施設を修繕するために、本事業が始まった。

(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？

□変化していない
■変化している → 変化した内容：農村公園施設の老朽化が進み、修繕の必要箇所が増大している。

(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？

3 評価（SEE）					
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
			根拠法令	みよし市地区公共修繕事業補助金交付要綱	
			この事務を行う根拠又は理由	農村公園施設であり、公共性が高い施設であるため。	
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容		
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	現在の管理方法により事故の発生が無いため、今後もこの事業を継続する。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	■ある → ■庁内事業 / □庁外事業 □ない	類似事業名	児童遊園等維持管理事業、公園維持管理事業	
			類似事業との再編の可能性	□ある → 内容 ■ない	
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある → □現状で適正 / □検討が必要 □ない ■受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）						
(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	→ 維持	事業費の方向性	→ 維持	成果の方向性	→ 維持
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど						

様式1-1

平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 530403	緑と花のセンター管理運営事業	主管課名	産業課
この事務事業の位置	政策	人と自然が共生する心地よい環境		
	施策	緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち	課長名	加藤　雅也
	基本事業	公園・緑地の維持管理		

(1)事業の概要

①センター建屋及び施設の適正な維持管理
②貸し施設の適正な管理運営

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	開館時間	時間
②		
③		

その指標

(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)

職員、臨時職員のほかに、交代制でふれあい農園栽培指導、草刈・除草・芝刈・農園整備等施設内管理、館内外清掃、窓口受付をシルバー人材センターに業務委託し、管理運営を行っている。
また、ふれあい広場・交流広場等の緑地（芝生）保全を業者委託し施設の維持・管理を行っている。

27年度計画　■前年と同様　□変更あり　変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

貸し施設の利用者

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	利用人数	人
②		
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

施設の有効活用を図る

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	利用して満足している人／利用者数	%
②		
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

安全で快適に利用できるよう施設を管理する

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	施設の維持管理面積（緑と花のセンター管理分）	ha
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標＼年度		単位	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
(5)の活動指標	①	時間	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
	②							
	③							
(6)の対象指標	①	人	44,809	46,526	46,600	46,600	46,600	46,600
	②							
	③							
(7)の成果指標	①	%	99	99	99	99	99	99
	②							
	③							
(8)の結果の成果指標	①	ha	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8
	②							
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	06	項	01	目	08

(11)コスト

		年度	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	37,236	43,155	61,397	51,288	45,674	55,054
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	3,886	3,866	8,343	8,343	8,343	8,343
	一般財源	千円	33,350	39,289	53,054	42,945	37,331	46,711
人件費B		千円	14,346	14,636	14,736	14,736	14,736	14,736
	正職員従事時間×人数	時間×人	900 × 4	800 × 5	800 × 5	800 × 5	800 × 5	800 × 5
	正職員以外の人件費	千円	1,000	900	1,000	1,000	1,000	1,000
その他費用C		千円						
トータルコストA+B+C		千円	51,582	57,791	76,133	66,024	60,410	69,790
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/　人	1	1	2	1	1	1
	②	千円/						
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	530403	緑と花のセンター管理運営事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
平成7年　から	ふれあい広場について全面的な整備改修（芝生管理）が必要となっている。
(2)この事務事業を開始したきっかけは？	
地域との交流の基盤	
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	
■変化していない □変化している → 変化した内容	

3 評価（SEE）					
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
			根拠法令	みよし市緑と花のセンター設置条例及び管理規則	
			この事務を行う根拠又は理由	健康でゆとりのある住民生活の確保と農業の振興を図るために、この事業が必要である。	
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容		
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	一定の成果が達成されているため現状を維持。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	■ある → ■庁内事業 / □庁外事業 □ない	類似事業名	公共施設の維持管理業務	
			類似事業との再編の可能性	□ある → 内容 ■ない	
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	■ある / □ない → □現状で適正 / ■検討が必要 □受益者がいない	内容	施設使用料については25年度より改正されたが、施設の利用動向に応じ中期的には更なる見直しが必要	

4 改革改善案（PLAN）						
(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	↓　削減	事業費の方向性	↓　減額	成果の方向性	→　維持
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど						

様式1-1

平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 530405	公園維持管理事業	主管課名	みどり推進
この事務事業の位置	政策	人と自然が共生する心地よい環境		
	施策	緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち	課長名	柘植　昭敏
	基本事業	公園・緑地の維持管理		

(1)事業の概要

公園緑地施設の適正な維持を行い、公園利用者の安全を確保する。
また、公園緑地内の樹木の適正な維持管理を行い、都市景観の向上及び緑豊かな自然環境の保全を図る。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	都市公園供用済面積	ha
②	遊具点検回数	回
③		

その指標

(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	①公園緑地の補植、②公園・緑地施設の緊急修繕、③公園緑地施設の遊具点検業務、④三好・保田ヶ池公園樹木管理業務、⑤小坂公園他14管理業務、⑥大沢公園他9維持管理業務委託、⑦三好丘地区公園緑地管理業務、⑧境川緑地管理業務、⑨緑地・緑道管理業務、⑩境川三好池花壇管理業務、⑪公園樹木管理業務、⑫三好公園池周辺管理業務、⑬ポケットパーク管理業務、⑭みどりのこみち管理委託 等を行った。
27年度計画	■前年と同様 □変更あり → 変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

都市公園、都市緑地

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	都市公園、都市緑地数	箇所
②		
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

適正な維持管理を行い、安全な公園施設を公園利用者に提供する

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	都市公園施設修繕件数	件
②	都市公園施設における事故件数	件
③	都市公園施設における苦情件数	件

(4)結果(上位基本事業の意図)

安全に利用できるよう公園緑地を管理する

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	公園緑地における維持管理面積	ha
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標＼年度		単位	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
(5)の活動指標	①	ha	83.12	83.12	83.12	83.12	83.12	83.12
	②	回	12	12	12	12	12	12
	③							
(6)の対象指標	①	箇所	76	76	76	76	76	76
	②							
	③							
(7)の成果指標	①	件	120	121	120	130	130	130
	②	件	0	0	0	0	0	0
	③	件	266	310	400	400	400	400
(8)の結果の成果指標	①	ha	83.12	83.12	83.12	83.12	83.12	83.12
	②							
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	08	項	04	目	06

(11)コスト

		年度	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	152,335	180,489	209,145	206,549	220,789	230,001
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	484	958	482	482	482	482
	一般財源	千円	151,851	179,531	208,663	206,067	220,307	229,519
人件費B		千円	21,112	20,168	20,168	20,168	20,168	20,168
	正職員従事時間×人数	時間×人	864 × 4	864 × 4	864 × 4	864 × 4	864 × 4	864 × 4
	正職員以外の人件費	千円	8,300	8,300	8,300	8,300	8,300	8,300
その他費用C		千円	369	369	369	369	369	369
トータルコストA+B+C		千円	173,816	201,026	229,682	225,086	241,326	250,538
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/ 箇所	2,287	2,645	3,022	2,962	3,175	3,297
	②	千円/						
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	530405	公園維持管理事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？

昭和45年度　から

(2)この事務事業を開始したきっかけは？

公園緑地施設の適正な維持管理を行い、安全かつ快適な公園施設を提供するために、本事業が始まった。

(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？

□変化していない
■変化している → 変化した内容：少子高齢化による公園利用者の変化、及び公園に対する要望が多様化してきている。

(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？

3 評価（SEE）					
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
			根拠法令	都市公園法	
			この事務を行う根拠又は理由	公園緑地施設において、適正な維持管理を行い、安全かつ快適な公園施設を提供するため。	
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容		
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	■できる □できない	理由又は内容	住民参加による管理により成果向上の余地はある。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	■ある → ■庁内事業 / □庁外事業 □ない	類似事業名	児童遊園等維持管理事業、農村公園維持管理事業	
			類似事業との再編の可能性	□ある → 内容 ■ない	
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	■ある □ない	内容	住民参加による公園管理を検討する。	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある / □ない → □現状で適正 / □検討が必要 ■受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）						
(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	→ 維持	事業費の方向性	→ 維持	成果の方向性	→ 維持
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど						

様式1-1

平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 530501	公共施設緑化推進事業	主管課名	みどり推進
この事務事業の位置	政策	人と自然が共生する心地よい環境	課長名	柘植　昭敏
	施策	緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち		
	基本事業	公園・緑地の整備促進		

(1)事業の概要

公共用地の緑化を推進することにより、緑に恵まれた安らぎと潤いのあるまちづくりを推進する。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	緑化推進地区公共用地の緑化面積	㎡
②		
③		

その指標

(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	①水環境整備施設（福田新池、百々池、大力池、みどりのこみち）維持管理委託業務
27年度計画	■前年と同様 □変更あり → 変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

緑化推進地区の公共用地

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) ･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	緑化推進地区の公共用地面積	㎡
②		
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

緑と花のある公共用地にする

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) ･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	緑化推進地区緑化面積/緑化推進地区公共用地面積	%
②		
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

計画的に公園緑地の整備を進める

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) ･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	市民１人当り公園緑地供用面積	㎡/人
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標＼年度		単位	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
(5)の活動指標	①	㎡	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
	②							
	③							
(6)の対象指標	①	㎡	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
	②							
	③							
(7)の成果指標	①	%	100	100	100	100	100	100
	②							
	③							
(8)の結果の成果指標	①	㎡/人	13.98	13.88	14.63	14.49	14.38	14.39
	②							
	③							

(10)予算費目　会計　01 一般会計　款 06　項 02　目 01

(11)コスト		年度	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	2,055	2,113	3,830	2,330	2,381	2,381
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,055	2,113	3,830	2,330	2,381	2,381
人件費B		千円	1,213	1,131	1,131	1,131	1,131	1,131
	正職員従事時間×人数	時間×人	100 × 3	100 × 3	100 × 3	100 × 3	100 × 3	100 × 3
	正職員以外の人件費	千円	100	100	100	100	100	100
その他費用C		千円	92	92	92	92	92	92
トータルコストA+B+C		千円	3,360	3,336	5,053	3,553	3,604	3,604
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/ ㎡	1	1	1	1	1	1
	②	千円/						
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	530501	公共施設緑化推進事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？

かなり前　　から

(2)この事務事業を開始したきっかけは？

良好な自然環境の保全と、緑と花のまちづくりを推進するために、本事業が始まった。

(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？

□変化していない
■変化している → 変化した内容：公共用地内の緑が増え、訪れる市民に安らぎを与えている。

(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？

3 評価（SEE）					
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
			根拠法令	ない	
			この事務を行う根拠又は理由	良好な自然環境の保全と、緑と花のまちづくりを行うため。	
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容		
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	成果は達成されているため、維持する。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	■ある → ■庁内事業 / □庁外事業 □ない	類似事業名	都市緑化推進事業	
			類似事業との再編の可能性	□ある → 内容 ■ない	
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある / □ない → □現状で適正 / □検討が必要 ■受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）						
(1)今後の事業の方向性	□拡大	■改善	□現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	↓　削減	事業費の方向性	↓　減額	成果の方向性	↑　向上
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど	水環境整備区域の維持管理をＮＰＯ法人や学校などに依頼するなどし、管理費の軽減を図る。					

様式1-1

平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 530502	都市公園整備事業	主管課名	みどり推進
この事務事業の位置	政策	人と自然が共生する心地よい環境	課長名	柘植　昭敏
	施策	緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち		
	基本事業	公園・緑地の整備促進		

(1)事業の概要

良好で快適な都市環境を創造するために、地域の実情に応じた緑豊かな公園施設等を整備する。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	都市計画決定公園面積	ha
②		
③		

その指標

(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	①三好公園整備工事（駐車場・テニスコート照明施設）、②前田緑道整備工事、③総合体育館大規模改修工事（外壁、ペデストリアンデッキ）、黒笹公園ネットフェンス門扉設置工事　等　等を行った。
27年度計画	□前年と同様 ■変更あり → 変更内容：三好公園整備工事（テニスコート）、前田緑道整備工事、総合体育館大規模改修工事、黒笹公園多目的広場改修工事　等

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

①住民

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	人口	人
②		
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①公園、緑地を快適にかつ安全な空間にする。

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	都市公園、都市緑地供用面積	ha
②		
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

①計画的に公園緑地の整備を進める。

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	市民1人当りの公園緑地供用面積	㎡/人
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標 ＼ 年度		単位	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
(5)の活動指標	①	ha	148.25	148.25	148.25	148.25	148.25	148.25
	②							
	③							
(6)の対象指標	①	人	59,474	59,885	60,800	61,400	62,000	62,600
	②							
	③							
(7)の成果指標	①	ha	83.12	83.12	83.12	83.12	83.12	83.12
	②							
	③							
(8)の結果の成果指標	①	㎡/人	13.98	13.88	14.63	14.49	14.38	14.39
	②							
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	08	項	04	目	05

(11)コスト

(11)コスト		年度	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	530,808	393,582	522,531	411,574	267,786	329,986
A 財源内訳	国庫支出金	千円	21,500	20,000	38,000	20,000	20,000	20,000
	県支出金	千円	116,900	53,100	41,500	40,000	40,000	20,000
	地方債	千円	14,800	18,000	34,200	13,000	13,000	13,000
	その他	千円	204,278	160,717	227,000	22,034	0	0
	一般財源	千円	173,330	141,765	181,831	316,540	194,786	276,986
人件費B		千円	4,816	4,461	4,461	4,461	4,461	4,461
	正職員従事時間×人数	時間×人	433 × 3	433 × 3	433 × 3	433 × 3	433 × 3	433 × 3
	正職員以外の人件費	千円						
その他費用C		千円	585	585	585	585	585	585
トータルコストA+B+C		千円	536,209	398,628	527,577	418,620	272,832	335,032
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/ 人	9	7	9	7	4	5
	②	千円/						
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	530502	都市公園整備事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
昭和45年11月24日の都市計画決定以降　から	
(2)この事務事業を開始したきっかけは？	
住民の憩いの場や健康づくりの場として整備を行うために、本事業が始まった。	
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	
□変化していない ■変化している → 変化した内容：公園に対する住民の考え方、利用の方法が多様化してきている。	

3 評価（SEE）					
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
			根拠法令	ない	
			この事務を行う根拠又は理由	快適かつ安全な緑地空間の整備推進を図るため。	
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容		
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	成果の向上は依存財源（国、県の補助）の確保によるところが大きく、今後も補助を活用して事業を進めたい。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	□ある → □庁内事業 / □庁外事業 ■ない	類似事業名		
			類似事業との再編の可能性	□ある □ない	内容
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある → □現状で適正 / □検討が必要 □ない → □現状で適正 / □検討が必要 ■受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）						
(1)今後の事業の方向性	□拡大	■改善	□現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	↓　削減	事業費の方向性	↓　減額	成果の方向性	↑　向上
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど	整備に際し、出来るだけ現況を生かした工法を採用する。 リサイクル材の活用や、耐用年数の長い資材を使用する。 設計業務を専門業者へ発注する。					

様式1-1

平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 531001	県営土地改良事業負担金事業	主管課名	産業課
この事務事業の位置	政策	人と自然が共生する心地よい環境		
	施策	緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち	課長名	野々山　久照
	基本事業	愛知用水路の上部利用		

(1)事業の概要

県営水環境整備事業
総延長　L=2.3km
第1期区間　L=0.46km　　第2期区間　L=1.84km
総事業費　C=603,628千円
第1期区間　C=173,628千円　第2期区間　C=430,000千円
事業期間
第1期区間　H20～H25　　第2期区間　H25～H29
親水景観保全施設（せせらぎ水路等）　430m
利用保全施設（緑化、遊歩道等）　1,850m
休憩施設（トイレ）等　5箇所

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	請求件数	件
②		
③		

(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	愛知県が事業主体となり、土地改良施設用地を利用した自然環境整備や修景整備工事を計画実施する。 市は、これに伴う地元及び他機関との調整を行い、当該年度における事業費相当の負担金を確認し愛知県に対し請求に伴う支払事務を行った。 事業完了後は施設移管を受け市施設として維持管理を行う。 平成24年度から一部供用開始。
27年度計画	■前年と同様 □変更あり → 変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

みよし市内における環境整備が可能な土地改良施設用地（愛知用水路）

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	事業箇所数	箇所
②		
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

水辺における自然とのふれあいの場を確保する

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	自然とふれあう場所として整備された土地改良施設用地	箇所
②		
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

水辺に親しめる緑道をつくる

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	整備延長	m
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標＼年度		単位	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
(5)の活動指標	①	件	1	1	1	1	1	1
	②							
	③							
(6)の対象指標	①	箇所	1	1	1	1	1	1
	②							
	③							
(7)の成果指標	①	箇所	1	1	1	1	1	1
	②							
	③							
(8)の結果の成果指標	①	m	382	41	150	150	150	150
	②							
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	06	項	01	目	05

(11)コスト

	年度	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
事業費 (決算又は予算額)	単位	26,250	7,250	0	7,500	7,500	7,500
A 財源内訳 国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0	0
その他	千円	55	0	0	0	0	0
一般財源	千円	26,195	7,250	0	7,500	7,500	7,500
人件費B	千円	1,483	1,374	1,374	1,374	1,374	1,374
正職員従事時間×人数	時間×人	200 × 2	200 × 2	200 × 2	200 × 2	200 × 2	200 × 2
正職員以外の人件費	千円						
その他費用C	千円						
トータルコストA+B+C	千円	27,733	8,624	1,374	8,874	8,874	8,874
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) ①	千円/ 箇所	27,733	8,624	1,374	8,874	8,874	8,874
②	千円/						
③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	531001	県営土地改良事業負担金事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
平成１３年度（福田新池） から	住宅地に縦断的に面した整備計画で、従来から殆ど人の往来が無い地域の整備をするため防犯面への配慮が必要。
(2)この事務事業を開始したきっかけは？	
県営老朽ため池改修事業において環境整備も可能となったため、これを開始した。	
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	
■変化していない □変化している → 変化した内容	

3 評価（SEE）					
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
			根拠法令	地方財政法（第27条）	
			この事務を行う根拠又は理由	地域住民の生活に潤いを与え住環境水準が高まるため、この事業が必要である。	
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容		
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	□影響が大きい ■多少影響がある □影響はない	理由又は内容	みよし市総合計画「緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち」に位置づけられている。	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	国予算に応じた進捗により成果は達成されておりこれを継続する。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	■ある → ■庁内事業 / □庁外事業 □ない	類似事業名	公園整備事業	
			類似事業との再編の可能性	□ある → 内容 ■ない	
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある / □ない → □現状で適正 / □検討が必要 ■受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）							
	(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
		コストの方向性	↑ 増加	事業費の方向性	↑ 増額	成果の方向性	→ 維持
	(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど						

様式1-1

平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 531201	準用河川維持事業	主管課名	土木管理課
この事務事業の位置	政策	人と自然が共生する心地よい環境		
	施策	緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち	課長名	竹谷　好裕
	基本事業	準用河川の整備		

(1)事業の概要

河川堤防における草刈や川底の浚渫を定期的に行い適正な河川管理を行う。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	草刈面積	㎡
②	草刈延長	m
③	浚渫量	m3

その指標

(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	①草刈委託設計書作成　②委託業務発注　③打合せ　④業務内容確認及び検査　⑤支払い事務　⑥浚渫土量算出　⑦設計書作成　⑧工事発注　⑨業務内容確認及び検査　⑩支払い事務
27年度計画	■前年と同様　□変更あり → 変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

準用河川の本数

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　　称	単位
①	管理する河川の本数	河川
②		
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①除草により生活環境を向上させる
②犯罪予防をする
③景観を向上させる

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　　称	単位
①	草刈面積	㎡
②		
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

多自然型により河川整備を行なう

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　　称	単位
①	準用河川の整備延長	m
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標 ＼ 年度		単位	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
(5)の活動指標	①	㎡	141,048	149,726	158,557	158,600	158,600	158,600
	②	m	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900
	③	m3	30	0	30	30	30	30
(6)の対象指標	①	河川	8	8	8	8	8	8
	②							
	③							
(7)の成果指標	①	㎡	155,788	155,800	155,800	155,800	155,800	155,800
	②							
	③							
(8)の結果の成果指標	①	m	4,723	4,808	4,968	5,128	5,288	5,528
	②							
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	08	項	03	目	01

(11)コスト

		年度	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
事業費A (決算又は予算額)		単位	45,813	28,433	19,200	43,600	58,160	17,660
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	129	0	0	0	0
	一般財源	千円	45,813	28,304	19,200	43,600	58,160	17,660
人件費B		千円	5,005	4,636	4,636	4,636	4,636	4,636
正職員従事時間×人数		時間×人	225 × 6	270 × 5	270 × 5	270 × 5	270 × 5	270 × 5
正職員以外の人件費		千円						
その他費用C		千円	233	240	240	240	240	240
トータルコストA+B+C		千円	51,051	33,309	24,076	48,476	63,036	22,536
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/ 河川	6,381	4,164	3,010	6,060	7,880	2,817
	②	千円/						
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	531201	準用河川維持事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
準用河川の認定されて　から	施設の老朽化等による修繕工事が増加傾向にある。
(2)この事務事業を開始したきっかけは？	
河川維持を行うため	
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	
■変化していない □変化している → 変化した内容	

3 評価（SEE）					
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
			根拠法令	河川法	
			この事務を行う根拠又は理由	河川管理者としての責務である	
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容		
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	河川管理区域の減少はなく、今後は草刈面積及び浚渫面積の増加が予想される。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	■ある → ■庁内事業 / □庁外事業 □ない	類似事業名	道路草刈管理業務	
			類似事業との再編の可能性	□ある → 内容 ■ない	
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある / □ない → □現状で適正 / □検討が必要 ■受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）							
	(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
		コストの方向性	↑　増加	事業費の方向性	↑　増額	成果の方向性	→　維持
	(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど						

様式1-1

平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 531202 準用河川改修事業	主管課名	都市整備課
この事務事業の位置	政策：人と自然が共生する心地よい環境		
	施策：緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち	課長名	岡本隆広
	基本事業：準用河川の整備		

(1)事業の概要

河川改修事業
　準用河川砂後川
　準用河川茶屋川
事務費
　旅費、需用費

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	改修延長	m
②		
③		

その指標

(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)　①測量業務委託　②実施設計業務委託　③工事費積算　④工事発注　⑤現場監督　⑥完了検査　⑦支払い業務

27年度計画　■前年と同様　□変更あり　変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

準用河川

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	河川改修計画延長	m
②		
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

地域環境と調和のとれた河川にする

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	河川改修済み延長	m
②		
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

多自然型により河川整備を行う

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	準用河川の整備延長	m
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標＼年度		単位	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
(5)の活動指標	①	m	130	85	160	160	160	240
	②							
	③							
(6)の対象指標	①	m	4,155	4,155	4,155	4,155	4,155	4,155
	②							
	③							
(7)の成果指標	①	m	2,573	2,658	2,818	2,978	3,138	3,378
	②							
	③							
(8)の結果の成果指標	①	m	4,723	4,808	4,968	5,128	5,288	5,528
	②							
	③							

(10)予算費目

会計　01 一般会計　款 08　項 03　目 01

(11)コスト

(11)コスト		年度	25年度実績値	26年度実績値	27年度計画値	28年度目標値	29年度目標値	30年度目標値
事業費(決算又は予算額)		単位	114,436	80,099	245,816	455,616	355,636	261,216
A 財源内訳	国庫支出金	千円	16,200	19,000	30,600	60,300	36,900	45,800
	県支出金	千円	21,000	3,600	26,000	83,000	79,000	40,000
	地方債	千円	0	40,500	101,800	257,940	208,620	154,440
	その他	千円	0	0	39,700	34,460	12,000	11,160
	一般財源	千円	77,236	16,999	47,716	19,916	19,116	9,816
人件費B		千円	3,426	5,481	5,481	5,481	5,481	5,481
	正職員従事時間×人数	時間×人	231 × 4	266 × 6	266 × 6	266 × 6	266 × 6	266 × 6
	正職員以外の人件費	千円						
その他費用C		千円	184	415	415	415	415	415
トータルコストA+B+C		千円	118,046	85,995	251,712	461,512	361,532	267,112
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/ m	28	21	61	111	87	64
	②	千円/						
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	531202	準用河川改修事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？

昭和５８年　　から

(2)この事務事業を開始したきっかけは？

河川の氾濫により住宅への浸水被害が発生したため、そうした災害を防ぐために開始した。

(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？

□変化していない
■変化している → 変化した内容：国庫補助金が削減されてきた

(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？

三好中部特定土地区画整理事業に合わせた事業計画を実施するため、依存財源の確保が必要である。

3 評価（SEE）

目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
			根拠法令	河川法
			この事務を行う根拠又は理由	住民を災害から守るために河川管理者としての責務である。
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由	
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容	
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容	
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	用地取得が必要な事業であり事業費が高く改修に時間がかかる。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	□ある → □庁内事業 / □庁外事業 ■ない	類似事業名	
			類似事業との再編の可能性	□ある → 内容 □ない
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容	
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある / □ない → □現状で適正 / □検討が必要 ■受益者がいない	内容	

4 改革改善案（PLAN）

(1)今後の事業の方向性	■拡大	□改善	□現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	↑　増加	事業費の方向性	↑　増額	成果の方向性	↑　向上
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど	三好中部区画整理事業に合わせ整備することにより、早期に浸水被害の縮小を図る。					